

○羅朝喜・尹良芬・草場基章

イネいもち病菌株 84R-62B の有する 1.6-Mb 染色体の構造:第一染色体特異的プローブを用いた CHEF-Southern 分析による検討

Luo, C. X., Yin, L. F. and Kusaba, M. : Structure of a 1.6-Mb Chromosome in *Magnaporthe oryzae* Rice-field Isolate 84R-62B: CHEF-Southern Analysis by Using Chromosome 1-specific Sequences as Probes.

先に,イネいもち病菌株(84R-62B/Y93-245c-2)交配系の連鎖解析により,非病原性遺伝子 *AvrPik* が 84R-62B の余剰染色体(1.6-Mb Chromosome: 1.6-Mb Ch)に座乗すること,さらに,1.6-Mb Ch は常染色体である第一染色体(Chromosome 1: Ch1)と連鎖することを報告した.今回, *M. grisea* データベース中の Ch1 特異的遺伝子を 84R-62B から単離し,これら遺伝子の分布から 1.6-Mb Ch の構造について検討を行った.単離した 15 の遺伝子をプローブとして CHEF 分画染色体にハイブリダイゼーションを行ったところ, 5つ遺伝子は 84R-62B の 1.6-Mb Ch に,他の 10 遺伝子は Ch1 にハイブリダイズした.したがって, 1.6-Mb Ch は Ch1 由来の領域を有すると考えられた.一方,1.6-Mb Ch からは同データベース中に相同性の無い配列も単離され,これらは他のイネいもち菌についても余剰染色体上に同定された.したがって,1.6-Mb Ch は Ch1 の一部と余剰染色体由来の配列を併有することが強く示唆された.

(佐賀大農)

菌類病

病原性・抵抗性

イネ

イネいもち病菌

羅朝喜

[mkusaba@cc.saga-u.ac.jp](mailto:mkusaba@cc.saga-u.ac.jp) (代表)